

[I C U]

研修の特徴と内容

【特徴】

外科系、内科系に関わらず様々な分野の重症患者を管理し、「重症患者における恒常性の維持」を目的とした治療を中心に行っている。

【内容】

① 一般目標（G I O）

全身管理における様々な治療法や手技を指導医のもとで習得してもらう。

② 行動目標（S B O）

1. 重症患者の病態を病理学的、生理学的に理解する。
2. 重症患者の病状把握、原因解明、治療計画、臨床経過観察および治療ができる。
3. 多臓器不全の病状把握、原因解明、治療計画、臨床経過観察ができる。
4. 循環不全、呼吸不全、体液異常などに対する診断と治療計画を立てることができる。
5. 感染症の診断と治療計画（抗菌療法など）を立てることができる。
6. 重症病態治療薬剤の適応、投与方法、副作用について述べるができる。
7. 救急蘇生法の手技に習熟し処置が確実にできる。
8. 人工呼吸法や人工呼吸器の原理、作動法が熟知できる。
9. 静脈内点滴やエコーガイド下に中心静脈カテーテルの挿入が行える
10. 気管挿管が行える。
11. 各種モニター機器、治療機器の作動原理について理解し安全かつ適切に使用できる。
12. 血液浄化の適応と管理について述べるができる。
13. 重症患者、家族の心理的、社会的状況を理解し、適切な人間関係を構築する。

③ 研修内容（方略）（L S）

1. ベッドサイドでの実践的治療を指導医のもと診療に参加する。
2. 毎日のカンファレンスに出席する。

④ 教育に関する行事

〈カンファレンス・症例検討会等〉

7時30分～8時00分 各科主治医との症例カンファレンス（病態評価、治療方針決定）

8時00分～ 麻酔科カンファレンスに出席

8時15分～9時00分 当直医から日直ICU専従医間の申し送りと症例カンファレンスに参加

9時00分～ベッドサイドにおける他職種との回診、回診終了後にICTとのカンファレンス
適宜 医局会、症例カンファレンス

また、学会発表、研究会発表、論文発表を行ってもらう。

⑤ 研修評価（E V）

EPOCを入力する。

指導医等

主任教授：西 信一 講師：竹田 健太 助教：堀 直人 助教：大橋 直紹 助教：井手 岳

研修実施責任者

講師：竹田 健太